



使い方【採血までの準備】

採血前に必ず流水でよく手を洗い、十分に乾燥させてください。

採血用穿刺器具

ソフレット 取扱説明書

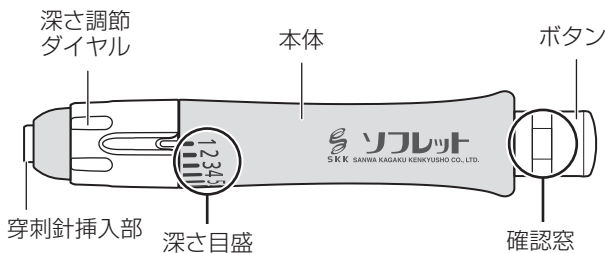
- ソフレットは、使い捨ての専用の穿刺針（ソフレット針）を用いて、血糖値測定などを目的とした少量の採血を行うための器具で、1つのボタンで穿刺針の穿刺（せんし）と廃棄の両方の操作を行えます。また、穿刺の深さを6段階に調節できますので、深さ調節ダイヤルで最適な深さに設定してからご使用ください。
- 本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。また、ご使用前に下記の【使用上の注意】を必ずお読みください。
- 本取扱説明書は大切に保管してください。

【使用上の注意】

1. 穿刺針は使い捨てですので、毎回新しいものを使用し、使用後は装着したまま放置せず速やかに廃棄してください。[感染のおそれがあります。]
2. 穿刺部位の消毒を必ず行ってください。また、採血後はばんそうこう等で止血と保護を行ってください。傷口が治りにくいときには、こまめに消毒してください。[感染のおそれがあります。]
3. 確認窓に黄緑色の表示が出ている状態で放置しないでください。[誤って穿刺される危険性や、故障のおそれがあります。]
4. 耳たぶ等の組織が薄い部位への穿刺を行う場合は、穿刺部位の裏側を直接指で支えないでください。針の貫通のおそれがある場合は、組織の厚い部位での穿刺を検討してください。[感染のおそれがあります。]
5. 穿刺針を押し込んで確認窓が黄緑色にならない場合は、その穿刺針は使用済みの可能性がありますので使用しないでください。[感染のおそれがあります。]
6. 果物等の糖分を含む食品などに触れた後は、そのまま指先から採血しないでください。穿刺前に必ず流水で手を洗ってください。[糖分が血液と混じり、血糖値が高値となるおそれがあります。]
7. 分解や改造を行ったり、採血以外の目的で使用したりしないでください。[怪我や故障のおそれがあります。]
8. 専用の穿刺針以外のものを挿入しないでください。[怪我や故障のおそれがあります。]

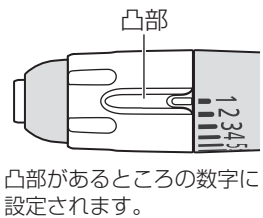
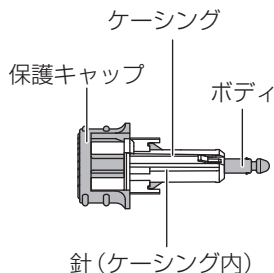
ソフレットと穿刺針の各部の名称

ソフレット

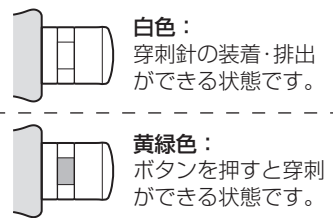


穿刺針（別売）

専用の穿刺針（ソフレット針）をご使用ください。



凸部があるところの数字に設定されます。



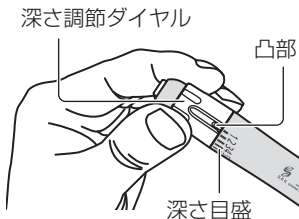
白色：
穿刺針の装着・排出
ができる状態です。

黄緑色：
ボタンを押すと穿刺
ができる状態です。

1 深さ調節ダイヤルを回し、設定したい穿刺の深さの深さ目盛（数字）に凸部を合わせる

- 数字が大きくなるほど、皮膚への穿刺は深くなります。初めてご使用になるときは、痛みを最小限にするために1から始めて測定に必要な採血量を得る最小の数字に設定してください。
- 必要な採血量についてはご使用の測定器の取扱説明書をお読みください。

穿刺の深さ	深さ目盛
浅い	1-2
標準	3-4
深い	5-6

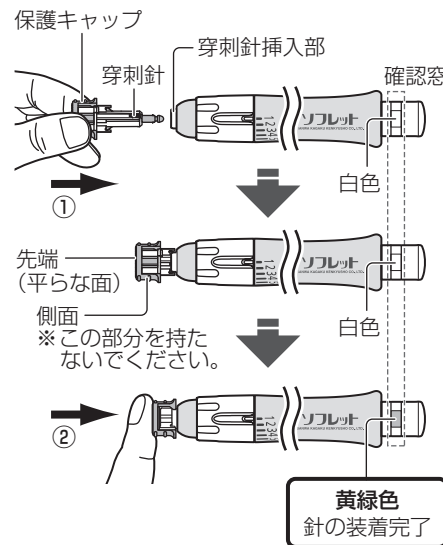


2 確認窓が白色から黄緑色になるまで、穿刺針をしっかりと押し込む

穿刺針を両手で装着する場合

穿刺針の保護キャップ部分を軽く持ち、穿刺針挿入部にまっすぐ挿入し①、保護キャップの先端（平らな面）を、しっかりと押し込む②

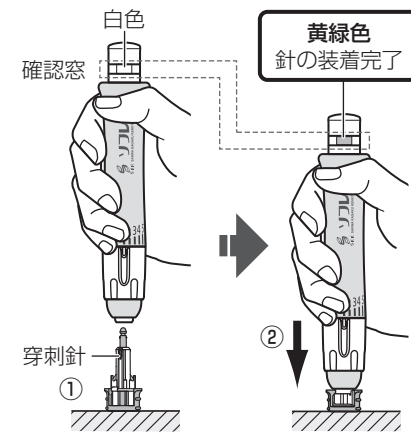
- 穿刺針を本体に押し込むときは②、保護キャップの側面を持たないでください。



穿刺針を片手で装着する場合

穿刺針を水平な場所に置き①、本体を上からまっすぐ下ろし、しっかりと押し込む②

- 本体や穿刺針を乱暴に取り扱わないでください。

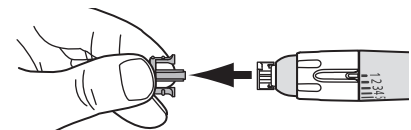


注意

- 黄緑色にならない場合は、装着が不十分ですので、しっかりと保護キャップを押し込んでください。
- 装着前に確認窓が黄緑色の場合は、ボタンを押して確認窓が白色になることを確認してください。
- 穿刺針を本体に挿入する前に、保護キャップをはずさないでください。

3 穿刺針の保護キャップを軽くつまみ、まっすぐ引っ張ってははずす

- はずした保護キャップは、すぐに廃棄してください。



使い方【採血から測定まで】

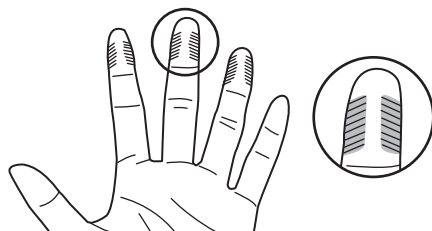
穿刺は医療機関の指示に従って行ってください。

十分な採血量を得るために

- 穿刺をする前に、指をマッサージしたり、お湯などで温めたりすると血液が出やすくなります。それでも出にくい場合は、手を腰よりも低く下げたり、手のひらから指先に向けてマッサージしたりしてください。

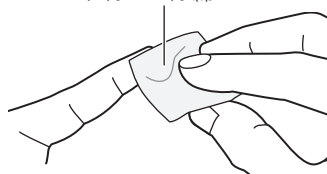
1 穿刺部位を決める

- 穿刺部位として、右図のような指先の両側が推奨されています。
- 傷口が治りにくくなる可能性がありますので、測定ごとに穿刺部位は変えるようにしてください。



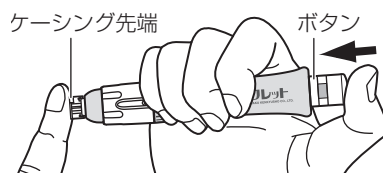
2 アルコール綿等で穿刺部位を消毒し、十分に乾燥させる

アルコール綿



3 保護キャップを取りはずした穿刺針のケーシング先端を穿刺部位に当て、しっかりと当てたままボタンを押して穿刺する

- 針は穿刺後に自動でケーシングの中に戻ります。
- 穿刺後は確認窓が黄緑色から白色に変わります。



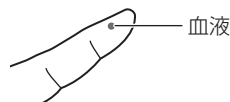
穿刺部位に当てる前に誤ってボタンを押した場合

穿刺針を装着したまま、ボタンを止まるまで引っ張り、ボタンを元の位置に戻してください。確認窓が黄緑色になり穿刺できるようになります。

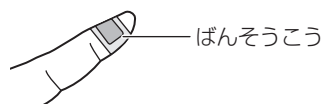


4 穿刺したら本品を穿刺部位から離し、得られた血液で測定を行う

- 測定方法はご使用の測定器の取扱説明書をお読みください。



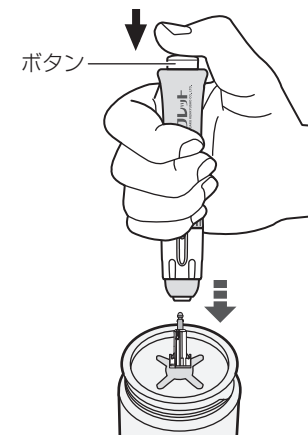
5 測定が終わったら、穿刺部位をばんそうこう等で止血する



6 ボタンをしっかりと押し込み、使用後の穿刺針を排出する

注意

- 使用後の穿刺針には直接触れず、速やかに針回収容器等に排出し、安全に廃棄してください。
- 使用後の穿刺針には、保護キャップを再装着（リキャップ）しないでください。



その他

保管方法

- 本品および穿刺針はお子さんの手の届かないところに保管してください。万一穿刺針を飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。
- 水ぬれに注意し、直射日光や高温多湿を避けて清潔な環境で保管してください。

お手入れ方法

- 本体の外側はやわらかい布等で拭いて、常に清潔にしてください。
- 汚れや異物などが本体の外側に付着した場合は、やわらかい布に水または薄めた中性洗剤を染み込ませよく絞った状態で拭いてください。
- 本体を水やアルコールなどの液体に浸したり、本体内部に液体が浸入したりすると、内部の部品が破損することがあります。

廃棄方法

- 使用済みの穿刺針や本品は、医療機関の指示に従って廃棄してください。

耐用期間

- 5年間 または 10 000 回 [自己認証(当社データ)による]

仕様

寸法	124 mm(突起部除く)	使用時の環境条件	温度：5℃～45℃
質量	19 g		湿度：20%RH～80%RH

●製品の取扱いに関するお問い合わせは、三和化学研究所へ●

フリーダイヤル ハイサンワ
0120-07-8130
お問い合わせは365日24時間お受けいたします。

製造販売元

PHC株式会社

東京都港区西新橋2-38-5 〒105-8433

販売元

株式会社 三和化学研究所
SKK 名古屋市東区東外堀町35番地 〒461-8631